

平成30年度予算編成方針のポイント

予算編成の基本方針

基本的な考え方

- ・「市原市総合計画 変革と創造いちほらビジョン 2026」の実現に向け、実行計画を着実に押し進めていく予算編成とする。
- ・総合計画の具現化のために定められた「変革方針 2017」に基づき、計画・予算・改革の三位一体によるマネジメントシステム構築を進め、真に効果のある事業へ選択と集中を実施していくものとする。

(1) 実行計画の着実な実施に向けた予算編成

- ・実行計画の見直し方針を踏まえ、実行計画期間である平成30年度・平成31年度の事業について、計画策定後の状況の変化をとらえ、新規事業の追加と採択済事業の見直しを図る。

(2) 重点施策による取り組み

- ・次の3点を重点施策とし、財源の重点配分を行うことにより、総合計画のスタートダッシュをより確かなものとする。
 - ① 市原市まち・ひと・しごと創生総合戦略に掲げる施策
 - ② ひとの活躍と地域主体のまちづくりに向けた施策
 - ③ ひとを支える安心・安全の強化に向けた施策

(3) 国の経済対策や制度改革の反映

- ・「未来投資戦略 2017」等の情報収集を迅速に行い、国・県等による特定財源を積極的に獲得し、事業展開を図る。

編成に向けた取り組み

- ✓ 前年度同様、人件費や公債費等の裁量の余地の少ない経費や投資的経費などの政策判断を要する経費を除き、原則として部局編成枠とし、部局主体の編成を推進。
- ✓ 国県支出金等の積極的な獲得、徴収対策や行政財産の貸付等の歳入の確保に取り組む。
- ✓ 市民・企業・NPO 等の多様な主体による力を活かし、連携・協力し、諸課題の解決に向けた施策に取り組む。
- ✓ 官民連携・周辺自治体との広域連携・政策間連携による課題の解決など、連携の視点からの施策展開に取り組む。
- ✓ 特別・企業会計の経営改善・自立化に向けた取り組みを強化し、一般会計からの繰入金縮減に最大限努める。